



世界へのプレゼントになろう

創立/1986年2月19日 (会長)村山 圭治 (副会長)神原 一久 (幹事)中島二三男
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

2015～2016 年度会長方針 「今年度は 30 周年です。一回でも多くの奉仕活動に参加しましょう。」

第 1420 回例会

2016 年 5 月 11 日

本日のプログラム

理事会	11:15~12:00
例会	12:30~13:30
会員卓話	
新入会員イニシエーションスピーチ	
成枝 隆明会員	

次回のプログラム

5クラブ合同例会「桜の間」	
登録受付開始及び昼食	11:30~
例会点鐘	12:30~
卓話「鉄道弘済会—84年の取り組み」	
公益財団法人鉄道弘済会 会長 佐々木信幸氏	
閉会点鐘	14:00

今月のソングリーダー 吉田 武輝会員

5 月のお祝い

【会員の誕生日】

今田 拓男会員	5日
竹内 哲夫会員	5日
澤田 博司会員	20日
米倉 健司会員	25日
稲川 一会員	28日

【夫人の誕生日】

月井三代子夫人	24日
---------	-----

【結婚記念日】

村中秀朗・静枝ご夫妻	3日
月井雅夫・三代子ご夫妻	24日

年間100%出席表彰

30年間皆出席	村中秀朗会員
28年間皆出席	今田拓男会員
17年間皆出席	廣内世英会員

前回の例会報告 2016 年 4 月 27 日

会長報告

1. 熊本地震災害支援金のお願いがガバナー事務所から来ております。

「可能であれば1人1,000円以上のご支援を」ということで、振込の締切日が5月31日(火)となっています。集まった支援金は、第2720地区〔熊本県・大分県〕に設置された「熊本地震総合支援室」へ送金し、被災地での支援活動ならびに今後の復興支援の費用に充てる予定と

のことで、5月末まで義援金BOXを回します
ので、ご協力をお願い致します。

- 30周年の時に寄付を致しました豊島区社会福祉協議会より、「豊島区の地域福祉向上に多大なご功労をいただいた」ということで「感謝状贈呈」のご案内をいただいております。
- 東京ロータリークラブより「東北すくすくプロジェクト」の御礼が届きました。今回の協力金はロータリー財団グローバル補助金により改修開所した「気仙沼すくすくハウス」を中心に東松島・石巻地域の活動に重点的に役立てるそうです。
- アメリカ、シカゴのRI本部より、林会員に、新入会員を紹介したということで記念のバッジが届いておりますのでお渡しします。

幹事報告

- 先般ご案内致しましたホームミーティングの各グループの開催日時等が決まりました。
Aグループは5月18日(水)、Bグループは20日(金)、Cグループは17日(火)、Dグループは19日(木)。現時点で時間や場所が決まっている事項についてはホワイトボードに貼ってありますのでご確認ください。
- 第3回の地区職業奉仕セミナーが5月16日(月)に開催されます。今回はマーケティング理論の第一人者である慶応大学名誉教授の井関利明先生をお迎えし、『日本型経営の今日的課題を考える』と題した講座のようです。ご興味のある方はぜひご参加ください。
- インターンシップ並びに職場体験についてのご依頼が、今年も東京都立稲が丘高等学校より来て

おります。希望される事業所はホテルメトロポリタン、期間は7月26（火）・27（水）の2日間とのことです。

4. 第2510地区の北海道から「親善ゴルフ北海道大会」のご案内が届きましたので、ホワイトボードのところに置いておきます。ご興味のある方はご覧になってください。

■ゲスト

北分区ガバナー補佐	服部 支朗様
分区幹事	木崎 重安様
分区副幹事	岸 義之様

■出席報告

会 員	出席参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	4月13日分 修正出席率
33名	30名	24名	6名	80.00%	83.33%



服部ガバナー補佐



服部支朗 北分区ガバナー補佐、木崎重安 分区幹事、岸 義之 分区副幹事／一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。貴クラブのますますのご発展をお祈り申し上げます。

前川会員／皆出席祝の御礼。

第1419回例会

卓 話

私の履歴書

中島二三男会員



私は、昭和47年に当時の国鉄（日本国有鉄道）に土木技術者として入社して以来、今日まで約44年過ごしてきました。国鉄時代は北海道から九州・四国まで日本列島四島すべて勤務しました。いろいろなプロジェクトに携わりましたが、主には東北・上越新幹線の建設が中心で、その中でも両新幹線の地震対策や雪害対策、騒音・振動といった環境対策に取り組みました。北海道総局・信濃川工事事務所時代は国鉄改革に取り組み、JR東日本になってからは、鉄道事業を離れ、関連・開発事業分野に携わりました。JRになって初めての大规模なスキー場であるGALA湯沢スキー場の開発・運営に取り組むと共に、ボルボ・サターン車の販売、駅ビルの運営、ゴルフ場の運営と非常に多種多様な事業に携わることができ、大変充実した国鉄・JRの44年間を送ることができたと思っています。

その中でも、今回の「平成28年熊本地震」でも多くの被災者が大変な苦勞をされていますが、東北新幹線の建設当時、5年前の「東日本大震災」を実は予測していたという話をしたいと思います。東北地方の三陸海岸沖は過去にも大きな地震被害に何度も見舞われ、データのにもいつ起きてもおかしくない地震の空白域が確認されていました。従って、地震のP波段階である程度の大きな地震を捕捉し、しかも海岸線付近に地震計を置くことによって、大きな揺れであるS波が内陸部に走る新幹線に到達するまでの時間差で非

常ブレーキによって速度を落とすという「地震早期検知システム」を鉄道技術研究所とともに開発し、設置していました。「東日本大震災」の時にどの程度有効に働いたかは私は確認していませんが、少なくとも東北新幹線で走っていた新幹線は1両も脱線していませんし、怪我をされた方も1人もいませんでしたので、新幹線の安全というものに対して私も多少の貢献はできたのかなと思っています。今回の熊本地震のような直下型の地震の場合はこのシステムは使えません。構造物の耐震強度を高めることしかないわけですが、実は9年前の「新潟県中越沖地震」（直下型地震）の時に、ある地区の高架橋上で検査用の新幹線車両が脱線した事象が起きました。実はこの地区は非常に地盤が悪く、地震に対して心配だということで、上越新幹線で唯一補強工事をしていた場所であり、この程度で済んだものと思われます。もし補強工事がされていなければもっと大惨事になっていたかもしれません。

また、国鉄改革という大変な変革の時期にも遭遇しました。北海道総局の施設課長、信濃川工事事務所の調査課長という筆頭課長の立場にありましたので、組合対策や社員の振り分け、新組織作りといった大変な作業の最先端で実務を切り回すという経験をさせていただきました。この話は別の機会があればお話ししたいと思います。

次に、JRになってからは何と言っても、JR東日本となって初めての鉄道以外の大規模プロジェクトであるGALA湯沢スキー場の開発に携わったことです。皆様ご存知のように越後湯沢にGALA湯沢という新幹線の駅を作り、上野から直接新幹線がスキーセンターまで乗り入れ、ゴンドラで上がれば上越では唯一のパウダースノーが楽しめるスキー場で、5月の連休までスキーが楽しめ、都心から1時間程の日帰りが可能なスキー場です。本社で計画段階から担当し、オープンしてからも4年間現地で総支配人として働きました。オープン初年度から36万人というスキーヤーが訪れ、大変話題にもなりましたし、何と言っても、JR東日本の採用においても半数近くの学生がGALA湯沢のような仕事をしたいと言ってくれたことが大変嬉しく、また誇らしく思ったことを覚えております。